

世界のYAMAMURAへ

——心と技術を伝えたい——

基本理念

基本理念は、山村グループの考え方や行動を支えるもので、企業理念の中心となるものです。

事業は人なり

山村グループは、人間を尊重し、明るい経営を実現する。

商いの基は品質にあり

山村グループは、心をこめた製品とサービスをもって、快適な生活文化に寄与する。

革新なくして未来なし

山村グループは、常にイノベーションに挑戦し、燃える集団を目指す。

コーポレート・メッセージ

このコーポレート・メッセージは、はつらつとした山村グループのスピリットを社会に対して特徴づけたものです。

ハート & テクノロジー

Heart & Technology

人を信じる心を大切にする「商いの心」

より良いものを生み出してゆく「匠の技」

事業内容

詳細は5-6ページ



ガラスびん
カンパニー

国内ガラスびんシェアNo.1



プラスチック
カンパニー

世界に通用する高性能キャップ



ニューガラス
カンパニー

最先端のガラス材料を開発



エンジニアリング
カンパニー

びんに関する総合システムを提供

会社概要

商号 日本山村硝子株式会社
Nihon Yamamura Glass Co., Ltd.

創業 1914(大正3)年4月5日

資本金 140億円

株式上場 東証一部

事業内容 ガラスびん・プラスチック容器の製造・販売
粉末ガラス・ガラスペーストなどの製造・販売
機器およびプラント類の設計、製作、販売ならびに設置工事

従業員数 825名(2017年3月)

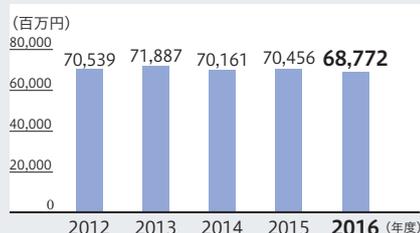
決算日 3月31日

山村グループの主要取引先

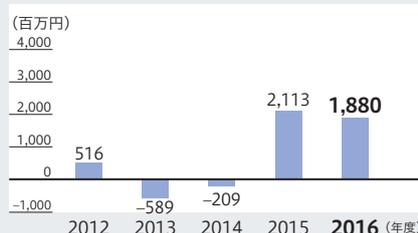
飲料メーカー、食品メーカー、化粧品メーカー、弱電メーカー、自動車関連業、倉庫/運輸業、ヘルスケア用品メーカー、通信機器メーカー、家電メーカー、精密機械メーカー、医療機器メーカー、化学製品メーカー、建築/建設業、機械製造メーカー、エネルギー関連業、エレクトロニクス関連業 他多数

財務ハイライト(連結)

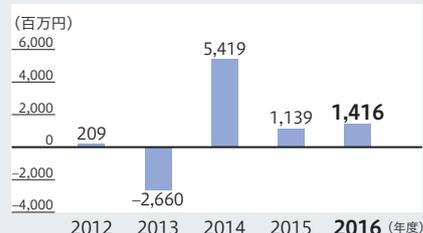
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



グローバル展開

詳細は7-8ページ

事業フィールドを 世界に広げて

会社沿革

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 1897年 | 山村商店 六甲山麓砂採掘販売を経営 | 1987年 | 兵庫県西宮市にニューガラス研究所を新設 |
| 1914年 | 兵庫県西宮市において山村製壺所として創業 | 1989年 | 広島硝子工業株式会社と合併 |
| 1922年 | 機械製壺の研究開発、半人工機械採用 | 1991年 | フィリピンにサンミゲル山村アジア設立 |
| 1928年 | 全自動製壺システム採用(リンチ式) | 1998年 | 日本硝子株式会社と合併、
日本山村硝子株式会社として発足 |
| 1946年 | 戦後操業再開 ルツボ窯、半人工で酒びん製造開始 | 2004年 | 中国に展誠(蘇州)塑料製品有限公司設立 |
| 1955年 | 株式会社に改組し、山村硝子株式会社として発足 | 2008年 | 山硝(上海)商貿有限公司を設立 |
| 1960年 | プラスチック容器工場建設、製造開始
機工部(現:エンジニアリングカンパニー)開設 | 2009年 | タイに山村インターナショナル・タイランド設立 |
| 1962年 | 東京都に日硝株式会社(現:星硝株式会社)設立 | 2010年 | インドネシアにサンミゲル山村ウタマ・インドプラス設立
山村フォトニクス株式会社子会社化 |
| 1967年 | 兵庫県西宮市に山村倉庫株式会社設立 | 2013年 | 秦皇島方圓包装玻璃有限公司(YGQ)子会社化 |
| 1970年 | 東京・大阪証券取引所 市場第一部上場 | 2015年 | 山村ロジスティクス株式会社設立 |
| 1973年 | リサイクル事業開始 | 2016年 | 米国にYGQカリフォルニア設立 |
| 1983年 | 兵庫県西宮市に株式会社山村製壺所設立 | | |

循環型社会の実現と、持続的成長を目指して



中期経営計画 (2017年4月～2020年3月)

世界のYAMAMURAへ 一心と技術を伝えたい

<策定のポイント>

- 前2回(2010年4月～2014年3月、2014年4月～2017年3月)の中期経営計画を継承し、今回と合わせ計10年間の取り組みとしています。
- 持続的成長を維持するために、アジアそして世界に誇れる“YAMAMURA”ブランドを確立します。

全体戦略

グループ総合力の深化

グループ間の連携を強化することにより、
グループ内の経営資源を有効活用する

研究開発の推進

独創的な発想で新製品・新技術を創出する

事業戦略

パッケージング事業の収益力強化

安定した収益を確保できる体質への転換を進め、
成長市場におけるさらなる拡大のための経営基盤を確立する

ニューガラス事業の拡大

ニューガラスカンパニーと山村フォトニクスが強みと
相乗効果により、事業規模を拡大する

当社は1914年の創業以来、“循環型社会の実現に貢献する”精神を大切に、ガラスびん製造を事業の柱として着実な歩みを続け、現在では容器メーカーとして不動の地位を築き上げました。2014年には創業100周年を迎え、新しいステージをさらに実り多いものとするため、「世界のYAMAMURAへ心と技術を伝えたい」のキーワードを掲げて戦略的に事業展開を行っております。

これまでガラスびん事業で培ってきたブランド力を基盤に、プラスチック容器、ニューガラス、そして将来の柱となる事業をグループ丸となって育て、確立してまいります。特に容器事業に関しては、東南アジア地域をはじめとした海外展開を重視し、グローバル企業として飛躍すべく、グループ各社の総力を挙げて、事業構造と企業風土の改革を強力に推進してまいります。

引き続きリサイクルの優等生といわれるガラスびんの需要創造に尽力するとともに、日本の容器産業をリードする企業としての社会的責任を果たすべく、循環型社会に適した製品の開発を進めてまいります。

また、当社では1972年にガラスびんのリサイクル活動を原点に環境問題への取り組みを始め、2001年よりコミュニケーションツールとして環境報告書の発行を開始いたしました。その後、当社の環境・CSR活動について、内容のさらなる充実を図るべく、CSR報告書として継承・発展させ、続いて、当社の掲げる理念および事業のご紹介から環境・CSR活動にいたるまで、幅広い内容を総合的にご覧いただけるよう、会社案内とCSR報告書を統合いたしました。

今後も社会から信頼され続ける企業グループを目指して、全社を挙げたCSR活動に取り組んでまいります。

2017年6月

代表取締役 社長執行役員

山村幸治



高品質の製品・サービスを提供

ガラスビジネスの進化の過程で誕生した4つのカンパニーを通じて、
お客様に安心してお選びいただける高品質の製品・サービスを市場に提供しています。



ガラスびん カンパニー

業界シェアトップを誇るガラスびんカンパニーでは、1,000種類にも上る豊富な製品ラインアップと、創業以来蓄積してきた技術開発力、そして柔軟性に富んだ生産システムで、広範囲なニーズに的確・迅速に対応するとともに、環境に配慮した商品開発を最重視しています。

今後は、中国、アジアのガラスびん会社への技術支援による積極的な海外展開をさらに行うとともに、ガラスびんの需要促進を図るため、高付加価値型の製品開発にも取り組んでいきます。



特長

- ・高品質保証体制を確立
- ・スピーディな新製品開発サポート



ガラスびんカンパニー播磨工場
(兵庫県)



ガラスびんカンパニー東京工場
(神奈川県)

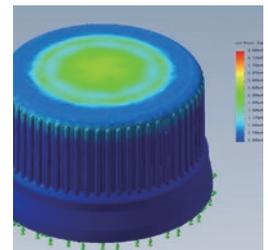


ガラスびんカンパニー埼玉工場
(埼玉県)



プラスチック カンパニー

1960年の創業以来、半世紀にわたってプラスチック容器の新たな可能性にチャレンジしてきたプラスチックカンパニーでは、独自に各種ペットボトル用キャップを開発するなど、先進的な製品開発・技術開発を推進し、市場ニーズに柔軟にしかも的確に対応できる一貫した生産体制を整えています。今後は、さらに高性能な新製品を開発し、キャップメーカーとしての確固たる地位を維持するとともに、アジア地域での拡販を積極的に展開していきます。



特長

- ・一貫した高速ラインによる安全品質と安定供給
- ・独自開発の「TENキャップ」



プラスチックカンパニー関西プラント
(兵庫県)



プラスチックカンパニー宇都宮プラント
(栃木県)





ニューガラス カンパニー

ガラスびん事業で培った高度な技術をベースに、情報通信、環境エネルギー、エレクトロニクス、自動車、照明などの先端分野で、ニーズに合わせた新組成開発や組成改良、新用途の開発など、研究開発・生産・販売の各部門が一体となって未来を創るガラス材料および無機系新素材を次々と生み出しています。今後も新素材の研究開発を通して技術力を発揮し、社会に貢献するカンパニーを目指します。



特長

・ガラスびんメーカーの
技術とノウハウをベースに
最先端業界へ展開



ニューガラスカンパニー鳴尾浜プラント
(兵庫県)



ニューガラスカンパニー尼崎プラント
(兵庫県)



エンジニアリング カンパニー

グローバルな活動を展開するエンジニアリングカンパニーでは、長年蓄積した技術・ノウハウをもとに製びん機や検査機、周辺装置を国内外に向け設計・製作・販売しています。また、製びん・検査・包装・搬送のシステムについても、ユーザー視点に立ってトータルにご提案します。排ガス処理をはじめとするガラス製造設備全般について企画・設計から据付工事・立ち上げまでを一括して請け負います。



特長

・国内唯一のガラスびん製造設備
サプライヤー
・工場運営に重点を置いた設備提案



エンジニアリングカンパニー
(兵庫県)



事業フィールドを世界に広げて

海外を拠点に事業領域の拡充を展開。

技術援助や共同開発にも積極的に取り組み、グローバル企業としての総合力を高めています。

海外関係会社

秦皇島方圓包装玻璃有限公司(YGQ)：中国

主な事業内容：ガラスびんの製造・販売

1958年設立のガラスびん会社。2013年7月、日本山村硝子の合弁子会社となり、2016年9月に日本山村硝子の独資となりました。日本で培った高度な技術を導入し、高品質のガラスびんを供給することにより、中国国内のみならず、米国、カナダ、スペインなど、海外でも積極的にビジネスを展開しています。



展誠(蘇州)塑料製品有限公司：中国

主な事業内容：TENキャップ、軽量キャップの製造・販売

台湾のプラスチックメーカーと合弁で2004年に設立し、2009年に日本山村硝子の独資となりました。飲料用プラスチックキャップを生産しており、中国国内を中心に、日本、韓国、東南アジアなどに販売しています。商品開発にも力を入れており、販売を伸ばすように取り組んでいます。



山村ウタマ・インドプラス：インドネシア

主な事業内容：TENキャップ、軽量キャップの製造・販売

サンミゲルとの合弁会社であるサンミゲル山村パッケージング・インターナショナルとの合弁で、2010年に設立。2012年に日本山村硝子の独資となりました。飲料用プラスチックキャップを生産し、現地の日系企業を中心に、ローカル企業や日本、東南アジア、中国へ販売しています。今後はさらにローカルに根付いた商品開発に取り組んでいきます。



山硝(上海)商貿有限公司：中国

主な事業内容：ガラスびん、ペットボトル用キャップ、機械設備、ニューガラス・電気電子機器用ガラス部品、その他包装資材一般の仕入販売

日本山村硝子初の海外営業拠点として、2008年に中国上海市に設立。2012年には広州事務所を開設しました。伸張している中国市場の中で、商社ならではのネットワークを活かし、日系企業・ローカル企業をはじめ、中国内外を問わず営業活動を行っています。



YGQカリフォルニア：米国

主な事業内容：YGQの米国向けカスタマーサービス

2016年3月、米国カリフォルニア州ナパに、YGQから米国向けに輸出するガラスびんのカスタマーサービス会社として設立されました。YGQと連携して、お客様のご要望にお応えすることで、ワインびんを中心に北米市場での拡販を目指します。



山村インターナショナル・タイランド：タイ

主な事業内容：ガラスびん、ペットボトル用キャップ、その他包装資材一般の仕入販売

タイ大手飲料メーカーであるオソサファとの合弁で、2009年にタイ・バンコクに設立した商社です。タイローカル企業ならびに東南アジア市場の日系企業を中心に各種包装資材のみならず、充填・生産ノウハウも含めたワンストップサービスを提供しています。



サンミゲル山村パッケージンググループ

サンミゲル山村アジア：フィリピン

主な事業内容：ガラスびん製造販売

フィリピンのコングロマリット(複合企業)サンミゲルコーポレーションと日本山村硝子の初の共同出資会社として1991年に設立され、食品、飲料、薬品などさまざまなガラスびんの製造販売を行っています。製品はフィリピン国内だけでなく、東南アジア、オーストラリア、中東、アフリカ、欧米各国へ輸出され、着実にその領域を世界へ広げています。



サンミゲル山村パッケージング：フィリピン

サンミゲル山村パッケージング・インターナショナル：英領バージン諸島

主な事業内容：包装容器製造販売(フィリピン国内外)

サンミゲルコーポレーションと日本山村硝子の共同出資会社として2008年に設立。フィリピン国内外で、ガラスびん、ペットボトル、アルミ缶など、あらゆる包装容器資材を取扱い、新容器開発や充填事業、輸送業など包装にまつわるトータルサービスをお客様に提供しています。



サンミゲル山村パッケージンググループの主な傘下企業

佛山サンミゲル山村パッケージング(中国)

主な事業内容：プラスチックケース製造

肇慶サンミゲル山村ガラス(中国)

主な事業内容：ガラスびん製造

SMC 山村扶桑モールド(フィリピン)

主な事業内容：金型製造

サンミゲル山村ハイフォンガラス(ベトナム)

主な事業内容：ガラスびん製造

サンミゲル山村プーパッケージング(ベトナム)

主な事業内容：王冠キャップ製造

サンミゲル山村パッケージング&プリンティング(マレーシア)

主な事業内容：ラミネート包装資材製造

サンミゲル山村パッケージングリサーチセンター(マレーシア)

主な事業内容：パッケージ研究開発

サンミゲル山村プラスチックフィルム(マレーシア)

主な事業内容：フィルム包装資材製造

サンミゲル山村ウォヴンプロダクツ(マレーシア)

主な事業内容：工業用ラミネートフィルム包装資材製造

コスパック(オーストラリア)

主な事業内容：総合パッケージ商社

海外パートナー企業

サンミゲル(フィリピン)

オソサファ(タイ)

オローラ(オーストラリア)

フェビーサ(メキシコ)

ヴィーガンド(ドイツ)

ベトロパック(スイス)

ビドララ(スペイン)

シセジャム(トルコ)

ギャロ(米国)

ブーハーエムハート(スイス)

ポテロ(イタリア)

BDF インダストリーズ(イタリア)

海外との技術交流と研究開発

TEP(技術交流会議)、IPGR(国際ガラス研究開発パートナーシップ)に設立時から参画し、欧米諸国の各企業・研究機関との共同開発を進めています。

多彩な事業を日本から発信する

新規事業への取り組みなど、品質とともにお客様の信頼につながる体制の強化に注力し、山村グループとしての力を最大限に発揮しています。

国内関係会社

山村倉庫株式会社

主な事業内容：製造請負、輸送・保管、構内作業

1967年に創業し、今年で50年。ガラスびんおよびペットボトル用樹脂キャップの原材料調達から生産業務の一部請負、製品の保管業務から配送まで、品質管理を柱とした業務品質にこだわり、日本山村硝子の業務をトータルにサポートしています。ガラスびん製品の取扱い輸送量は、年間43万トン。大型トラックにして、その台数は年間5万台、1日あたり約200台を各拠点から輸送しています。日本山村硝子の製品を安全・迅速にお客様へお届けすることを使命とし、日本山村硝子と一体となって日々の業務や改善活動を行い、業務品質の向上に努めています。そして、創業100年に向けた夢の実現のため、一層の努力を続けていきます。



山村ロジスティクス株式会社

主な事業内容：食品物流サービス、保管、配送、警備・管財、人材派遣

2015年11月に設立された山村ロジスティクスは、山村倉庫の外販営業部門を承継し、2016年4月から新たな体制で物流業務がスタートしました。幅広い分野で鍛え上げたノウハウをもとに「庫内作業」、「保管」、「配送」、「警備・管財」、「人材派遣」を展開する総合物流サービス事業者として、「的確さ」、「正確さ」、「即応性」を武器に、お客様のニーズにトータルでお応えします。

「確実・丁寧・誠実」をモットーに、さまざまなサポートと提案を行い、お客様に満足いただける真のサービスが提供できるベストパートナー企業を目指していきます。



星硝株式会社

主な事業内容：ガラスびん、日用品の仕入・販売

1962年の創業以来、商社機能というフットワークを活かしてお客様のご要望に高品質なサービスでお応えしています。ガラスびん、ペットボトル、クロージャー、包装資材全般および包装関連機器の販売を軸に、生ごみ処理機、広口給水袋などの取扱い、「セラーマイト」ブランドの家庭用保存容器の製造販売も行っています。環境への取り組みとして、ガラスびんの3Rに基づく提案・販売・普及活動のほか、CO₂排出抑制効果を期待できる環境商材の取扱いもしています。

長年培ってきたお客様との信頼関係を財産に、よりきめ細やかな対応を求められる未来へ向けてさらなる課題の発見と解決に努め、新たなビジネスモデルの構築および可能性に挑戦していきます。



山村フォトニクス株式会社

主な事業内容：電気・電子機器用ガラス部品・LTCC基板材料の製造販売

1949年の創業以来、真空管用ガラス製品で培ったガラス材料技術および金属とガラスの溶着技術（Glass to Metal Seal）をベースに、光とエレクトロニクスの複合化製品を提供し続け、現在、ガラス事業、オプトエレクトロニクス関連事業、ガラスセラミックス事業の3分野で事業を展開しています。環境への取り組みとして、全工場においてISO14001を認証取得。廃棄物排出量および化学物質の削減、省資源・省エネの実施、環境配慮商品の開発など、厳しい自主管理基準値を設けて環境改善に努めています。

「光とエレクトロニクス」をキーワードとしたユニークな電子部品の開発・生産に挑戦し、次世代に向け需要が広がる新たな製品創出へ、先端の開発力と技術力で取り組んでいきます。



株式会社山村製壺所

主な事業内容：ガラスびん製造販売

Amazing & Emotion ～お客様のために驚きと感動のボトルを提案します。

1983年の設立以来、日本山村硝子の伝統のもとに独自の生産技術を駆使して個性豊かな製品を創造してきました。ガラスびんは環境にやさしく、色・形・大きさと自由自在。その多様な表現力はオリジナリティを高めます。私たちは業界で唯一、多色・多品種の少量生産システムを構築して市場の多様なニーズにお応えしています。そしてお客様の商品への思いやり、Future Creatorの精神で心から満足いただける製品をお届けします。

これからもお客様第一主義のもと、山村製壺所だからできる技術を駆使し、環境に配慮しながら、驚きと感動のボトルを提案し続けていきます。



日硝精機株式会社

主な事業内容：金型製造販売

1968年、ガラスびん金型製造の会社として神奈川県大和市に設立され、現在はガラスびん金型のほか、多様化するペットボトル用金型および付属品の設計製造、修理を主な業務としています。

月間生産能力は、主型150丁以上、口型1,500丁以上、ペットボトル型60丁以上を有しますが、常に過去最高の生産性を目指して、社員一人ひとりが多能化を加速させ、組織にとられない全体最適な応援体制を築くことを心がけています。

また、近年は若手社員の採用を進め、ベテランの匠の技を伝承する人材の育成を図るよう取り組んでいます。

